

令和5年度当初予算（案）説明資料

I	令和5年度当初予算（案）の概要	1
II	令和5年度当初予算（案）総括表	2
III	令和5年度主要事業説明資料	
①	広島病院	3
②	安芸津病院	4

病院事業局

I 令和5年度当初予算（案）の概要

当初予算のポイント

1 基本的な考え方

今後の医療需要の増大・高度化を見据えた社会保障制度改革等の環境変化に適切に対応していくとともに、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の影響による厳しい医療環境の下でも、県立病院としての役割を果たしていくため、医療機能や経営基盤の強化に取り組む。

2 予算概要

（1）予算規模

○病院事業会計	324億円（対前年度比：+2.6%，+8.4億円）
広島病院	298億円（構成比：92.0%）
安芸津病院	26億円（構成比：8.0%）

※病院事業会計の総額は、企業会計（収益的支出、資本的支出）の合計

○一般会計	24億円（対前年度比：△3.0%，△0.7億円）
-------	--------------------------

（2）病院事業会計の収支見込

引き続き、医療機能の強化を図るとともに、感染症指定医療機関や地域の医療機関との協力の下、新型コロナ対応も実施し、経常収支の黒字を確保する。

○経常収支	1.6億円（対前年度比：+250.3%，+11.1億円）
-------	------------------------------

3 主要事業

第6次広島県病院事業経営計画（H29～R5年度）〔期間延長〕に基づき、重点的取組を実施（詳細については、広島病院⇒P3，安芸津病院⇒P4）

○広島病院

- ①がん医療を含めた高度医療の強化
- ②新型コロナウイルス感染症への対応
- ③医療の質と患者満足度の向上

○安芸津病院

- ①地域との連携
- ②新型コロナウイルス感染症への対応
- ③医療の質と患者満足度の向上

Ⅱ 令和5年度当初予算（案）総括表

（1）病院事業会計

（単位：千円，％）

区 分	令和4年度 当初予算額 ①	令和5年度 当初予算額 ②	比 較		備 考	
			②-①	②/①		
病院事業収益 a	28,181,480	29,551,786	1,370,306	104.9		
内 訳	医業収益 b	24,119,476	25,831,946	1,712,470	107.1	
	うち入院収益	16,108,974	17,646,351	1,537,377	109.5	患者数，診療単価の増
	うち外来収益	7,349,205	7,453,943	104,738	101.4	患者数の増
	医業外収益 c	4,032,004	3,689,840	△342,164	91.5	病床確保に係る補助金 1,565,638 含む
	特別利益 d	30,000	30,000	0	100.0	
病院事業費用 e	28,159,159	29,417,466	1,258,307	104.5		
内 訳	医業費用 f	27,649,123	28,954,746	1,305,623	104.7	給与費+253,297 材料費+537,381
	医業外費用 g	457,986	411,596	△46,390	89.9	企業債等利息△49,022
	特別損失 h	52,050	51,124	△926	98.2	
医業収支 (b-f)	△3,529,647	△3,122,800	406,847	88.5		
医業外収支 (c-g)	3,574,018	3,278,244	△295,774	91.7		
経常収支 (b+c)-(f+g)	44,371	155,444	111,073	350.3		
収支差 (a-e)	22,321	134,320	111,999	601.8		

資 本 的 収 支	資本的収入 i	1,915,141	1,699,807	△215,334	88.8	企業債△138,000
	資本的支出 j	3,449,674	3,028,318	△421,356	87.8	
	うち建設改良費	1,206,663	1,069,205	△137,458	88.6	資産購入費△213,830 建設工事費+76,372
	収支差 (i-j)	△1,534,533	△1,328,511	206,022	86.6	

支出予算額計 (e+j)	31,608,833	32,445,784	836,951	102.6	広 島: 29,850,763 安 芸 津: 2,595,021
---------------------	-------------------	-------------------	----------------	--------------	-------------------------------------

（2）一般会計

（単位：千円，％）

区 分	令和4年度 当初予算額 ①	令和5年度 当初予算額 ②	比 較		備 考
			②-①	②/①	
衛生費	2,468,999	2,394,798	△74,201	97.0	
病院事業会計への 繰出金	2,468,999	2,394,798	△74,201	97.0	

Ⅲ 令和5年度主要事業

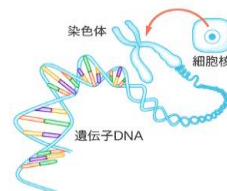
① 広島病院の重点的取組

広島病院は、地域の医療機関との連携の下、患者や地域に選ばれる高度急性期機能の役割を強化していくとともに、公立病院が担うべき救急医療などの基幹的役割を引き続き発揮する。

1 がん医療を含めた高度医療の強化

➤ がん遺伝子診療機能の強化

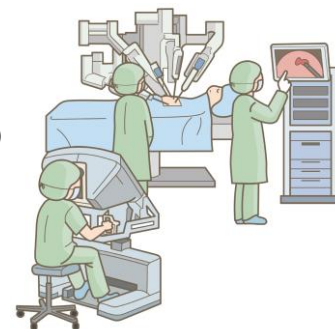
- ・がんゲノム医療中核拠点病院と連携して検査等を行なう「がんゲノム医療連携病院」の指定（H30.3）を受け、遺伝子情報に関する検査を実施（H30.7～）
- ・ゲノム診療科の設置によるがんゲノム医療提供体制の強化（R4～）



- ◆ 遺伝カウンセリング R3：77件，R4見込：62件（※健康保険対象分）
- ◆ がん遺伝子パネル検査 R3：75件，R4見込：117件（※健康保険対象分）

➤ 医療機器のさらなる活用による高度医療の強化

- ・手術支援ロボット（ダヴィンチ）の対象手術の拡大による手術の高度化や安全性の向上（R3.9導入）
- ・令和4年度に更新した高精度放射線治療システム（リニアック）により、がん診療連携拠点病院として、放射線治療に係る診療機能を維持、強化（R4.10診療再開）



2 新型コロナウイルス感染症への対応

➤ 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症重点医療機関として県内最大数の病床を確保し、重症を含む中等症以上の患者を中心とした入院患者の受け入れを積極的に実施

- ◆ 受入患者数 R3 : 延 7,757人（うち中等症以上 4,373人）
R4.4～9 : 延 4,787人（うち中等症以上 1,693人）

3 医療の質と患者満足度の向上

➤ 周術期管理センターの設置（R4～）

入退院関連業務を集約した患者総合支援センターによる患者、家族の入退院に関する相談等のワンストップ支援を継続することに加え、令和4年度に設置した周術期管理センターにおいて、手術患者の課題を入院前から多職種で支援することにより、術後の早期回復・退院を実現

② 安芸津病院の重点的取組

安芸津病院は、高齢化や人口減少の進展により、医療需要の縮小が見込まれる安芸津地区における唯一の入院機能や、急性期から回復期、あるいはかかりつけまでの総合的な機能を有する強みを活かし、地域と一体となった予防医療を含めた地域包括ケアシステムの質の向上に積極的に貢献する。

注) 安芸津地区・・・安芸津病院の診療圏（旧安芸津町，旧安浦町，竹原市，大崎上島町）

1 地域との連携

➤ 介護施設等との連携強化

- ・地域の介護施設等との連携強化を図ることで、地域包括ケアシステムの質の向上に貢献
- ・認定看護師による他病院や介護施設等への感染症予防対策や認知症対策等の指導を実施し、地域の医療・介護機能を向上

◆訪問看護実施数 R3：1,744 枠，R4 見込：1,643 枠

➤ 地域包括ケア病床（急性期後のリハビリ，在宅復帰に向けた支援）の拡充

長期入院ニーズに対応し，平成 29 年度に 21 床から 29 床に 8 床増床，令和 5 年度以降，更なる増床を予定

◆地域包括ケア病床稼働率 R3：63.3%，R4 見込：65.0%*

（※新型コロナウイルス感染症患者の受入期間中，地域包括ケア病床を閉鎖）

2 新型コロナウイルス感染症への対応

➤ 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・新型コロナウイルス感染症患者の受入を実施
- ・発熱などの症状がある患者の診療を行う発熱外来を設置
- ・個別接種医療機関として，地域住民等に対しワクチン接種を実施

◆受入患者数 R3 : 延 481 人（うち中等症以上 237 人）

R4.4~9 : 延 416 人（うち中等症以上 260 人）

◆発熱外来患者数 R3 : 1,033 人，R4.4~9 : 1,796 人

◆ワクチン接種実施数 R3 : 2,145 件，R4.4~9 : 1,958 件

3 医療の質と患者満足度の向上

➤ 新たな外来の取組

外科の専門外来として，新たに開始した「乳腺専門外来」等を引き続き実施

◆乳腺専門外来受診患者数 R3 : 136 人，R4 見込 : 129 人